

## 私たちのために捨てられるイエスキリスト

マタイの福音書 26 章 69～75 節

今日から 2025 年の受難週に入ります。私たちはペテロの手紙を読んできましたが、四つのすべての福音書には、かつてそのペテロ自身がイエスキリストを「知らない」と言ったできごとが記されています。

しかしペテロだけではありません。ここにはイエス様をさばくヘロデとピラト、そしてその間にイエスキリストの弟子たちとユダのそれぞれの姿が記されています。その姿に自分自身の姿を見ないでしょうか。



“キリストは罪を犯したことがなく、その口には欺きもなかった。ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、脅すことをせず、正しくさばかれる方にお任せになった。キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。” 1ペテロ 2:22-23

### ① イエスキリストは、私たちの偽りとねたみのために裁かれた

“さて、祭司長たちと最高法院全体は、イエスを死刑にするためにイエスに不利な偽証を得ようとした。多くの偽証人が出て来たが、証拠は得られなかった。” 26:59

“ピラトは、彼らがねたみからイエスを引き渡したことを知っていたのである。” 27:18

### ② イエスキリストは、私たちの恐れのために否定された

“ペテロは、「鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言います」と言われたイエスのことばを思い出した。そして、外に出て行って激しく泣いた。” 26:75

### ③ イエスキリストは、私たちのわずか銀貨 30 枚のために捨てられた

“こう言った。「私に何をくれますか。この私が、彼をあなたがたに引き渡ししょう。」すると、彼らは銀貨三十枚を彼に支払った。そのときから、ユダはイエスを引き渡す機会を狙っていた。” 26:15

### ④ イエスキリストは、私たちの無責任のために十字架に引き渡された

“ピラトは言った。「あの人がどんな悪いことをしたのか。」しかし、彼らはますます激しく叫び続けた。「十字架につけろ。」ピラトは、語ることが何の役にも立たず、かえって暴動になりそうなを見て、水を取り、群衆の目の前で手を洗って言った。「この人の血について私には責任がない。おまえたちで始末するがよい。」 27:23-24

### 【考えてみましょう】

\* ペテロは後に初代教会を代表する指導者になりましたが、聖書はこの時のペテロの姿をありのまま記しただけではなく、むしろ他の人たち以上に詳細に書きました。その事実から私たちは何を学ぶことができると思いますか。